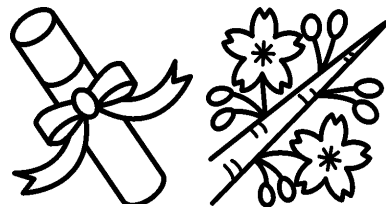


# 清純・愛郷



「基礎力・思考力・実践力をもち、磨き合って自立に向かう生徒の育成」

～ 元気な生徒 元気な先生 元気な学校 ～

令和4年3月7日（月）

◇丹波篠山市立西紀中学校 ◇丹波篠山市宮田175 ◇tel 593-0032 ◇fax 593-0041

**NO22**

## 9日は第56回卒業証書授与式 3年生！新しいステージで大きく羽ばたいてください！

いよいよ3月！3年生にとっては、卒業式まであと2日間。まさしく、全てに「ラストの」「最後の」という言葉がつく毎日となります。このメンバーでのラスト2日間！1日1日を大切に、いい気分で最後の日を迎えてください。そして、感動的な卒業式を、みんなで創り上げてください！

人生15年、義務教育終了。まさしく節目の年です。どうしても、頑張ったのは自分、辛い思いをしたのは自分・・・等々の感情が先行してしまいます。しかし、決してあなた一人の力だけではないのです。本当に多くの人に支えられ、多くの人に理解と支援を頂き、多くの人々の力を借りて、今の自分があるのです。このようなことに気づけること、そして、素直に感謝の気持ちを表すことが大切なのです。

先週からの1週間。HR、卒業式練習、愛校作業、3年生送る会等を通して、3年間の営みをしっかり振り返ることができましたか……。1日1日を大切に過ごせたでしょうか……。3年生に関しての全体的な感想。入学以来、学校行事に全力で取り組んできた学年。特に、体育祭の応援合戦、文化祭の演劇では、1年生の時より本当に素晴らしい結果を残してくれました。1つのことをみんなで創り上げる難しさ、素晴らしさを実感する中で、集団としての成長、そして、個々の力を存分に高めてきました。そして、3年生としての1年間。コロナ禍で、例年通りいかない中、「しかし、前向きに・・・！」「何とかやりきりたい！」という、33名の熱い思いが、西紀中学校を本当に元気にしてくれました。同時に、3年生の先生方の指導の下、学校のリーダーとして、本当によく成長してくれました。「何をやるにも、スマートに器用に要領よくはできない。スーパースターもいない。しかし、いつも一生懸命の姿が格好いい！何か素敵！」そんなところが好きになってしまった学年でした。

**You will never walk alone!**

あなたたちは一人で  
歩いていくのでは  
ないのですから・・・  
いつまでもお元気で！



校長 伊勢三十六

いよいよ9日は、第56回卒業証書授与式。みなさんは、それぞれの想いや希望や夢を抱いて、新しい世界に旅立つ日です。多くの試練や課題、苦労があることでしょう。時には行き詰まってしまうかも知れません。しかし、逃げずに、めげずに、あきらめずに、学年のカラーであった「最上級の正義・信頼・愛情に向かって・・・」の言葉を忘れず、大きく羽ばたいてください。

新しい世界で、中学3年間以上の素晴らしい世界を、素晴らしい日々を創造していってくれることを願ってやみません。3年間のみなさんの日々は、33名での生活は、一言では絶対に語れるものではありません。大切な財産に・大切なメモリーに……！

そして、最後に、感動的な素晴らしいピリオドを期待しています。 さようなら……！

# オリンピックに想う・・・！

冬季の北京オリンピックが終了しました。東京オリンピックと同様に、たくさんのドラマが展開されました。男子ジャンプの小林選手、男子スノーボードの平野選手、女子スピードスケートの高木選手、女子カーリング日本チーム。いい結果を出した選手の笑顔と涙、努力の痕跡には、改めて感心させられ、納得できるものがあります。最高の敬意を払いたいと思います。

しかし、勝者は種目に一人。メダルと無縁の選手の方がはるかに多いのです。思い通りの結果が出せなかった選手のコメントからも、私たちが学ぶべきことがいっぱいあります。

直前の怪我によりメダルに手が届かなかった、女子スピードスケートの小平選手。「ずっと強い人はいない。でも、奮い立ち、立ち上がれる人間でいたい」。男子フィギュアスケートの羽生選手。「正直、これ以上ないぐらい頑張ったと思います。報われない努力だったかもしれないですけど、・・・でも・・・うん」。男子スノーボードビッグエアーで、決勝で超大技に挑戦して転倒。9位だった大塚選手。「無難な技でまとめていたらメダルには届いたと思う。しかし、自分の4年間の成果を出したかった。チャレンジしたかった。何かを抑えるのは絶対に嫌。後悔はない」。他にも、心を動かされるたくさんのコメントがあります。 私たちとは、少々次元の違う世界かもしれません。しかし、私たちが生きていく上で、本当に大切なこと、自分自身を見直していくきっかけになることを、いっぱい教えてもらったオリンピックでした。まさしく、「これぞ、生きたキャリア教育！」と実感したオリンピックのドラマでした。

## 初の試み！リモートによる 第2回生徒総会 3年生送る会

3/2（水）6校時、第2回の生徒総会が行われました。卒業式、公立高校一般学力検査を控え、出来る限り感染拡大防止のため、初めてのリモートでの開催となりました。総会では、田中生徒会長の力強いあいさつに始まり、活動報告・会計中間報告、新旧交代のセレモニーを。生徒会役員の熱く強い思いが、コロナ禍の西紀中学校を、本当に元気にしてくれました。また、1年間で、生徒会役員10名の成長が実感できた総会となりました。1年間、本当によく頑張りました。

3/4（金）午後、これまた初めての試み！リモートでの3年生を送る会を開催。学年末を迎え本当に多用な中、コロナ禍の厳しい状況の中、2年生の新生徒会役員を中心に企画・準備・運営をしてくれました。多目的ホールを本部に、新生徒会長・竹村君のあいさつでスタート！「かぶっちゃおーよ」「パーセントバルーン」の全校生ゲーム。リモートでも、みんなが1つになって、こんなに楽しめるのか・・・！続いて、転任された岡本先生・守本先生からの熱いメッセージに、3年生もウツトリ・・・！そして、3年間の思い出のムービー！1つ1つの写真に動画にメッセージに、3年間の記憶が鮮明によみがえってきました。同時に、3年生にとっては、卒業が間近に迫っていることを実感した瞬間でもありました。最後に、3年生の3名の代表からお礼のメッセージを頂き終了！！本当に素敵な、リモートによる3年生を送る会となりました。全校生に乾杯！！



## 「まん延防止等重点措置」が再延長 残念！無念！ショック！スキー学校が中止に

3月6日で解除されると信じていた「まん延防止等重点措置」の再延長が決定しました。従って、3月14日から2泊3日で予定していたスキー学校が中止となりました。兵庫県及び丹波篠山市の指針、そして、お互いの安全を確保していくためには、仕方ない決定ではあります。2年生にとっては昨年来から、代替の野外活動を入れると6回目のチャレンジ。しかし、今回も雪山の神は微笑んでくれませんでした。2年生30名の気持ちを考えると、本当に心が痛みます。でも、この6回の2年生の準備は取り組みは、絶対に無駄にはなりません。必ず、光り輝く時が来ることを信じて・・・！！今年度も、ラスト3週間！